

科目ナンバリング		G-LET12 61531 LJ36									
授業科目名 <英訳>		中国哲学史(特殊講義) History of Chinese Philosophy (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名		人文科学研究所 教授 武田 時昌			
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2019・ 前期	曜時限	木2	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目		中国の思想と科学(上)									
[授業の概要・目的]											
<p>人文学はいま岐路に立たされている。存在とは何か、世界がなぜむしろ実在するか、不可知であることを前提にして至遠の理を洞察せよとはどういうことなのか。ゲノム解読によって示された生命観、歴史観は、過去の哲学的命題をちらにし、人類の文明史観、文化認識はちっぽけな自己満足にすぎないことを言い立てている。世界の永遠とは落陽の女神とともに海の彼方に沈む運命にあり、旅だった愛すべき詩人は二度と詩歌を口ずさんでくれない。</p> <p>再生医療や不妊療法が難病克服を旗頭にして生命操作の危険を冒しはじめた現今、先端技術の暴走族をどんな倫理規範で取り締まればいいたろうか。論じえないことに沈黙せねばならないとしても、語りえないことを語り続ける価値はある。では、パラダイムシフトの旗手となる未来の若者にいったい何を語り継ぎ、世界の記憶とすればいいのか。</p> <p>現代人は多忙で苦悩に満ちた日常に立ち尽くしている。高度な科学技術がもたらした長寿社会やネット世界は、前近代社会と比較してどれほどの幸福感や安堵感を増進させたというのか。「いかに生きるべきか、どのように生き長らえ、死を迎えるのか」、そんな問いかけに模範解答すら提示できないでいる。科学的、実証的であろうとする人文学は、生きる知恵というサイエンスの原義に回帰すべきである。</p> <p>そのような視座に立って、東アジアの伝統科学文化を振り返れば、天地自然と人倫社会の相互作用をアナロジーにして、社会のあり方、人間の生き方をユニークな思索を巡らしている。自分らしく生きること、考えることを追究するうえで、有益なアイデアをそこにいくつも見出すことができる。そこで、本授業では、老子と易の自然哲学を思想源とし、漢代の思想革命を経て醸成した中国的パラダイムに構造的把握を試み、その特質や可能性、限界性を探る。</p> <p>なお、前期は古代(先秦から漢まで)、後期は中世から20世紀までを議論する。</p>											
[到達目標]											
東洋的思考のルーツを辿りながら大学生活の知的活動がいかにあるべきかを問い直し、生き方、考え方のパラダイムを古代人の叡智に学ぶことで、真の学問に目覚めた読書人としてキャンパスを独り歩きできるようになる。											
[授業計画と内容]											
<ol style="list-style-type: none"> 1. 生きる知恵とは何か：サイエンス原論 2. 伏羲と女#23207の幻方と数碼：中国文明の起源 3. 暗闇は無く、無知があるのみ：老子と孔子のシュールな笑い 4. 一から水への化身：万物生成論の時空ドライバー 5. 孤立無援の方位学：天円地方の世界観 6. アメとムチのダイナミクス：刑徳二元論の構図 7. 地母神の死兆星と君主の名前：先秦の惑星観と災異説 8. 始皇帝スキャンダルなんかぶっ飛ばせ：秦王朝文明開化論 9. 時の漂流者はWorld-Lineに居るよ：未決想定 of 中国的不可知論 10. 馬々虎々の万元戸：『淮南子』の中国的処世観 11. 復讐と天災のストラテジー：春秋公羊学のゲーム理論 											
----- 中国哲学史(特殊講義)(2)へ続く -----											

中国哲学史(特殊講義)(2)

- 12.朋友よ、蒼天を見よ：前漢末救世主伝説
13.灸から鍼へのパラダイムシフト：漢代医学革命の構造
14.とある儒学の禁書目録：緯書の天文曆数と易姓革命
15.金声玉振の集大成：孟子から王充・鄭玄への自然学の系譜

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点及び達成度】

平常点（自主レポート歓迎）。

【教科書】

授業中に指示する

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する

【授業外学習（予習・復習）等】

フィードバックの方法については、授業時に指示する。

（その他（オフィスアワー等））

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。